

第8回日本TRIZシンポジウム

(TRIZ Symposium 2012 in Japan)

-TRIZ思考で、プロセスを変える、夢をかなえる-

2012年9月6日～9月8日
於：早稲田大学 西早稲田キャンパス

開会にあたって

2012年9月7日

NPO法人日本TRIZ協会
理事長 林 利弘

所在地：〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-5-7 秋葉原イーストビル4階
TEL：03-5809-2413 FAX：03-5809-2412
E-mail：info@triz-japan.org URL：<http://www.triz-japan.org/>

第8回日本TRIZシンポジウム開催の趣旨と狙い

- 1) TRIZとその関連分野での
 - ・ 初心者・経験者各層への
セミナー・テーマ講演の場（初日）
 - ・ 適用・研究成果の発表・討論の場（2-3日目）
 - ・ 関心あるテーマでの深い討論の場（初日夜）を提供し、技術レベルの向上と
普及・推進・適用の仕方の向上に資する。
- 2) 日本と世界のTRIZ関係者の交流の場を提供し、
TRIZコミュニティの発展に資する。
- 3) 今回の主題：
- TRIZ思考で、プロセスを変える、夢をかなえる -

日本TRIZシンポジウムのこれ迄の経過

2012年8月23日現在

回次	主催	開催時期	開催場所	参加者	発表件数
第1回	日本TRIZ協議会	2005年9月	ラフォーレ修善寺	104名	20
第2回		2006年8月末	パナヒルズ大阪	157名	34
第3回		2007年8月末	東芝研修センター	204名	34
第4回	日本TRIZ協会	2008年 9月10日～12日	ラフォーレ琵琶湖 (滋賀県)	180名	46
第5回		2009年 9月10日～12日	国立女性教育会館 (埼玉県)	132名	42
第6回		2010年 9月9日～11日	神奈川工科大 (厚木市)	165名	40
第7回		2011年 9月8日～10日	東芝研修センター	115名	33
第8回		2012年 9月6日～8日	早稲田大学 西早稲田キャンパス	110名	37

今回（第8回）シンポジウムの特徴

- 1) 昨年同様、セミナーデイとコンファレンスデイの分割による、
多様な参加者ニーズへの効果的・効率的対応
 - ・セミナーデイ(3つのタイプ)：初心者向けチュートリアル/経験者向けテーマ別
セミナー/先進者向けアドバンストセミナー
 - ・コンファレンスデイ：2パラレルセッションの壇上オーラル発表と
1つのインタラクティブポスターセッションで構成
- 2) グループ討論：TRIZ導入・普及に関する3つのグループ討論
- 3) プレセッション：海外からの参加者との予備セッション
- 4) 招待講演： 3件（次頁スライド参照）
- 5) 発表件数： 37件（前年+4件）（セミナー講演6件、纏め討論1件除く）
内、海外から： 6カ国（仏、韓国、タイ、イスラエル、ヨルダン、ブラジル：赤字は初参加）
11件（基調講演含む）（昨年比+3件）
- 6) 各種支援(初)：後援：日本創造学会、
協賛：日本設計工学会、日刊工業新聞社

第8回日本TRIZシンポジウム招待講演

基調講演 : R&D実践のパラダイム変換に、
TRIZはどのように貢献できるか

- Professor, Dr. Denis Cavallucci - (INSA Strasbourg, France)

特別講演 1 : やさしく、楽しいTRIZ
(「TRIZ発明原理の歌」)

- Dr. Jeongho Shin - (President of eTRIZ, Korea)

特別講演 2 : 創造性を教育する
—創造技法普及の土台作り—

- 弓野憲一 静岡大学名誉教授 - (日本創造学会会長)

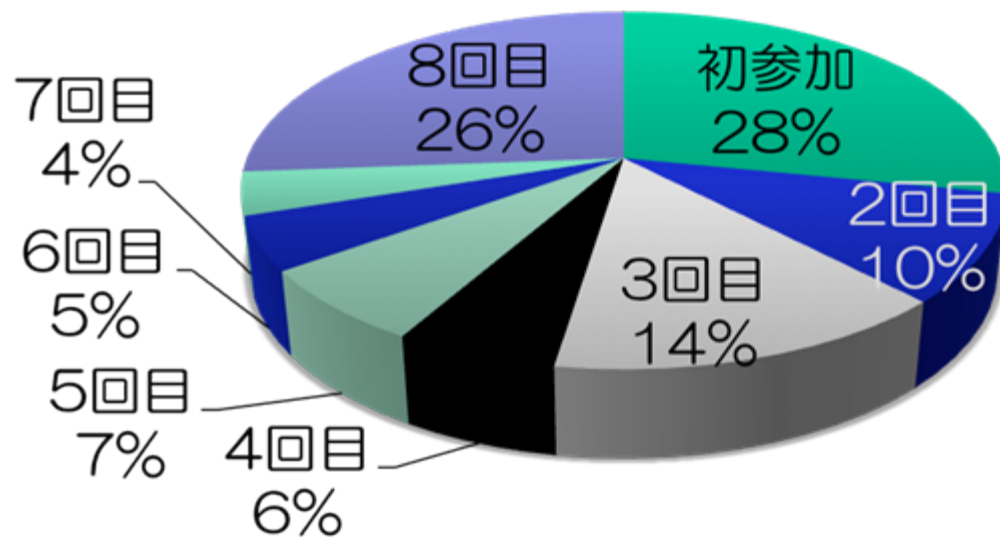
第1-8回日本TRIZシンポジウム発表者・参加者内訳推移

2012年8月23日現在

			2005 (1)	2006 (2)	2007 (3)	2008 (4)	2009 (5)	2010 (6)	2011 (7)	2012 (第8回)
論文発表者	国内	大学/研究機関	1	6	3	4	5	6	4	↗ 8
		一般企業	9	10	10	10	10	6	5	↗ 8
		個人/研究会ほか	2	2	6	10	6	9	9	→ 7
		サービス提供者	5	5	5	8	7	5	7	↘ 3
	海外	3	11	10	14	14	14	8	↗ 11	
	計	20	34	34	46	42	40	33	↗ 37	
セミナー他				2	2	2	2	7	→ 7	
参加者 (講演者 含む、事 前申込み ベース)	企業1-ザ (開発関係)		71	94	142	97	62	96	63(4)	↘ 53(4)
	教育・研究・ソサ		9	43	42	40	50	46	34(5)	↗ 40(3)
	ツルパソダ-		15	2	1	7	4	4	4(0)	↗ 3(0)
	その他 (知財/IT/個人他)		9	8	10	23	16	19	12(0)	↗ 14(0)
	計		104	147	195	167	132	165	113 (9)	110(7)
シンポジウム終了時点の参加者				157	204	179	137 (海外 19)	165 (海外 46)	115 (海外11)	

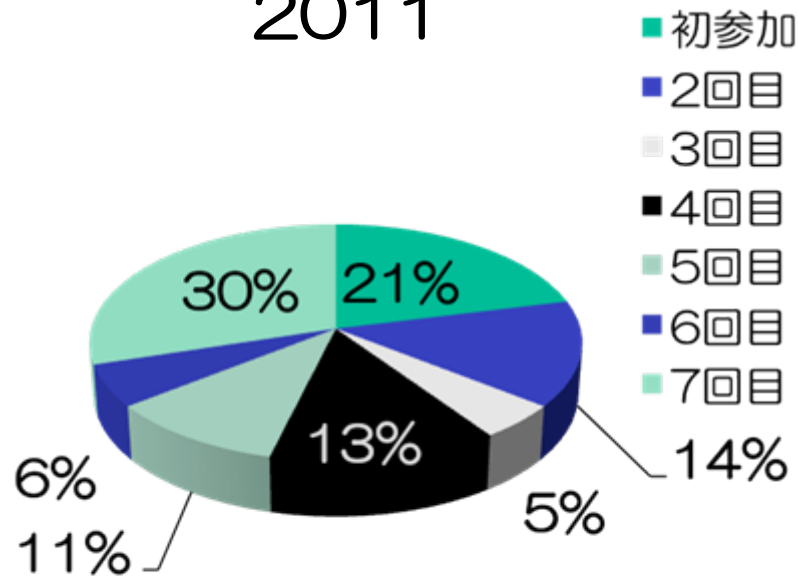
国内参加者プロフィール（参加履歴）

2012
(2012年8月23日現在)



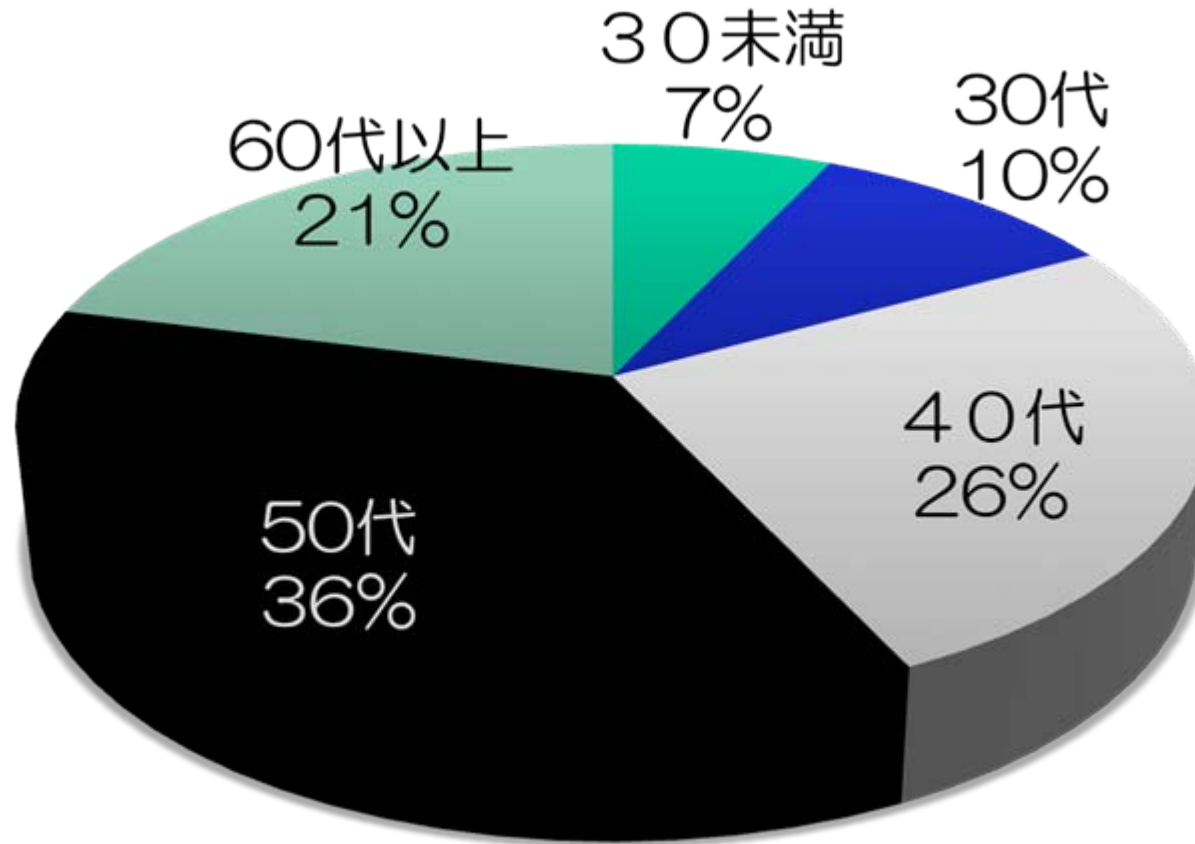
計103名

2011

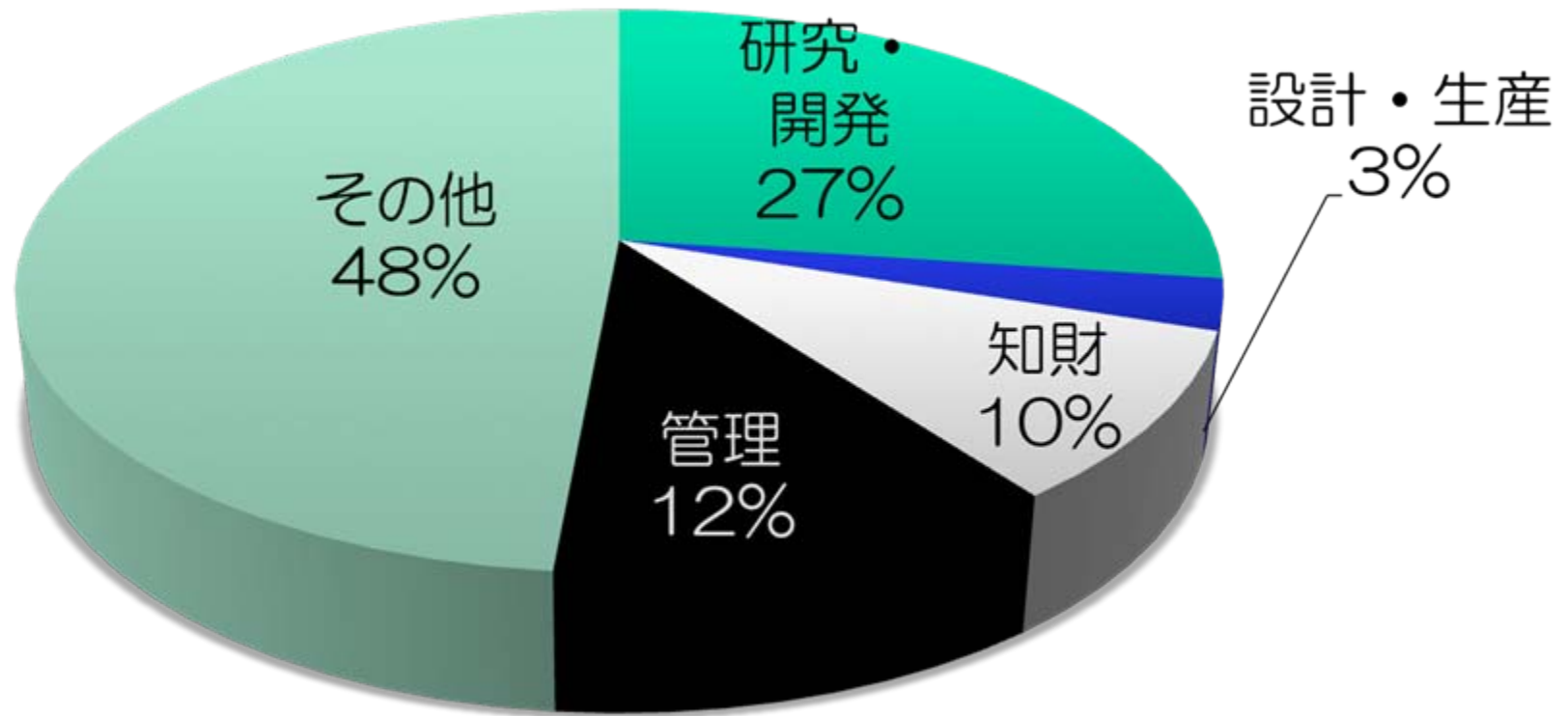


計104名

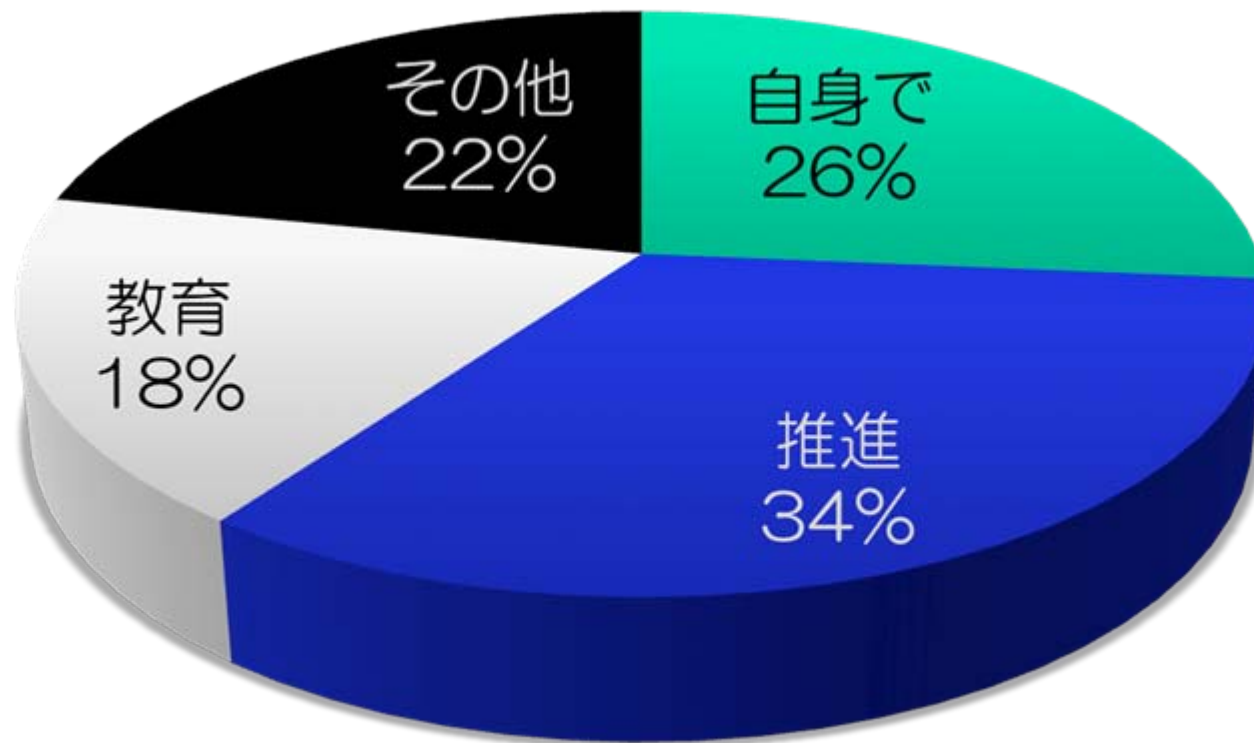
国内参加者プロフィール（年齢分布）



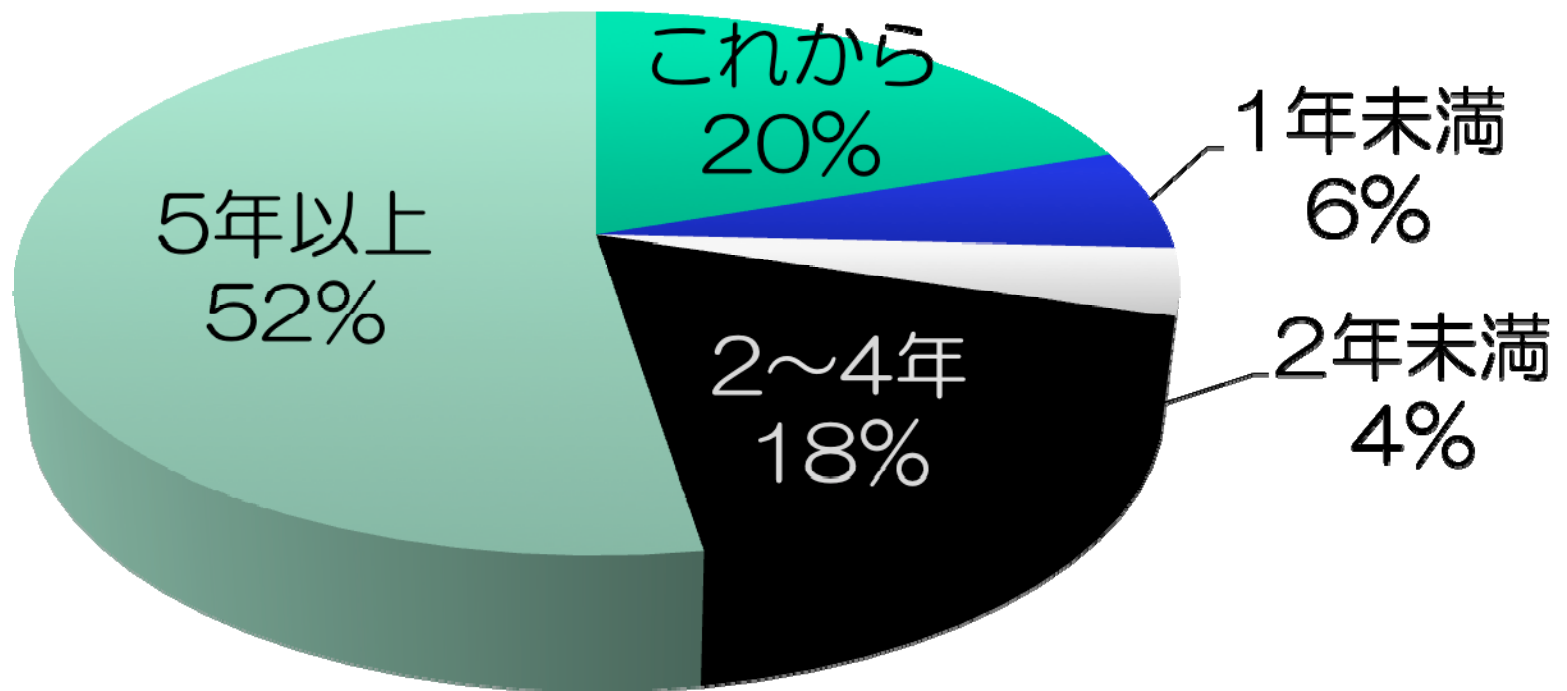
国内参加者プロフィール（職種分布）



国内参加者プロフィール (TRIZへの関わり)



国内参加者プロフィール (活用経験)



主催者：NPO法人日本TRIZ協会について

経過

- 2004年5月 : TRIZ懇話会発足
- 2005年1月 : 日本TRIZ協議会へ衣替え
- 2007年12月27日: NPO法人日本TRIZ協会正式発足

活動形態 : 会員ベースの公共的な
ボランティアベースの非営利法人活動

- 日本におけるTRIZ普及活動のセンターとして機能する。
- 我が国の技術開発力・国際競争力強化に資するため、活動をよりオープンで全国的なものにする。
- TRIZに関心を持っている方々のより強固な結集と活動の場を継続的に提供する。

日本TRIZ協会の中期的活動方針

- 1) TRIZの考え方の国内各層での認知・浸透の拡大
 - ・ 対若年層、学生、企業若手
- 2) 日本企業のイノベーション力強化にむけての
未認知企業への広報・教育の推進
 - ・ 対中小企業
 - ・ 対未認知業種
- 3) TRIZ取り組み(&取り組もうとしている) 企業における
現場ニーズ吸い上げによるTRIZ適用の効果拡大支援
 - ・ 対未会員TRIZユーザ、
 - ・ 対未会員TRIZ未ユーザ (取り組んでみたいと思っている人)

これらの活動を通して、TRIZ協会会員数の増強と活動の一層の活性化を図る。

日本TRIZ協会の活動内容と 推進のための各委員会の分掌

活動内容	<p>TRIZの普及・高度活用にむけた各種活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆シンポジウム/セミナーの企画開催 ◆研究会活動 / 教育・出版用コンテンツの開発
------	--

- 企画委員会：協会新規事業の企画立案と推進、中長期計画の立案
- 技術委員会：技術面での協会としてのオーソライズ、研究会統括
- ジャーナル編集委員会：TRIZとその関連技術・手法に関する論文・意見発表の電子的な場の運営（詳細はメルマガ、HP参照）
- 出版委員会：TRIZとその関連技術・手法に関する出版の推進（詳細はメルマガ、HP参照）
- 広報委員会：対外、対会員広報（HP運営含む）
- 総務委員会：協会運営上の総務的業務と対外窓口及び事務局の統括
 - ◆事務局：協会運営のための各種事務的業務の遂行
- シンポジウム実行委員会：シンポジウムの企画・運営
- （□は2012年度より新設）◆プログラム委員会：シンポジウムプログラムの公募とプログラム編成

日本TRIZ協会の研究会活動について

- 1) 「知財創造」研究分科会 (主査：長谷川公彦氏)
活動成果等はポスターセッションAで紹介
- 2) 「ビジネス・経営TRIZ」研究分科会 (主査：吉澤郁雄氏)
活動成果は本日午後のAセッションにて紹介
- 3) 「教育とTRIZ」研究分科会 (主査：中川 徹氏)
<http://www.osaka-gu.ac.jp/php/nakagawa/TRIZ/jlinksref/JTS/JTS-EducationSG.html>
活動方針・今後の進め方等について
「若々しいTRIZ」として明日の最終セッションにて紹介

これら研究会の活動については、
協会コーナーの掲示をご覧くださいとともに、
ご不明点等は協会関係者に気軽お問い合わせ下さい。

第8回シンポジウム準備組織および協力者(1)

全体統括 : 林 利弘

準備組織 (シンポジウム実行委員会)

実行委員会委員長 : 三原 祐治

実行委員 (事務局) : 堀田 政利、大内 亜佐子(日本TRIZ協会)

(会場担当) : 澤口 学

(広報担当) : 前古 護

(海外対応) : 正木 敏明、津波古 和司

プログラム委員長 : (正) 中川 徹、(副) 小西 慶久

プログラム委員 : 有田 節男、津波古 和司、坪倉 紀子

(ポスターセッション担当) : 福嶋洋次郎

開催準備協力者 : 海野 誠、菊池 史子、片岡 敏光、石濱 正男、
長谷川 公彦、国友 秀世、大田 哲也、
池田 理、津波古 和司、古謝 秀明、前田 勝宏

デザイン協力 : 後藤 一雄 (個人)

【敬称略、順不同】 【所属記載なしは日本TRIZ協会の運営会議メンバー】

第8回シンポジウム準備組織および協力者(2)

通訳・スライド翻訳協力者

通訳者：小西 慶久、黒澤 慎輔（個人）、石濱 正男、津波古 和司、
上村 輝之（アイディエーション・ジャパン）、

和訳：古謝 秀明、菊池 史子、海野 誠、池田 理、
国友 秀世、福嶋洋次郎、大田 哲也、緒方 隆司、
石原弘嗣（ソニー）、高原 利生（個人）、粕谷 茂（山口大）

英訳推敲支援：有田 節男、津波古 和司、中三川 哲明（日立）

【敬称略、順不同】 【所属記載なしは日本TRIZ協会の運営会議メンバー】

謝辞

今回のシンポジウム開催に当たり、
会場の使用を快諾戴き、
また種々の便宜を図って戴いた
早稲田大学の関係の皆様
に厚く御礼申し上げます。

ご清聴ありがとうございました

「日本TRIZ協会」未加入の方の加入と
会員の皆様の継続、
よろしくお願い致します